

3

階段・通路を使用した場合

1 火災発生

ベル鳴動



自動火災報知設備のベルが鳴りました。
どこかで火災です。



すぐに受信機で出火階を確かめ、現場に行き、火災の有無を確認します。

2 火災発生場所の確認



お店にいるお客様に火災の発生を知らせ、指示に従うように伝えます。

イラストのように、携帯拡声器等が準備されていれば、なお良いでしょう。

エレベーターの使用を禁じ、非常口、避難階段を示します。



頭を低く、おしほり、ハンカチを鼻・口にあてて煙を吸い込まないように指示を出します。



3 館内への報知

4 避難誘導



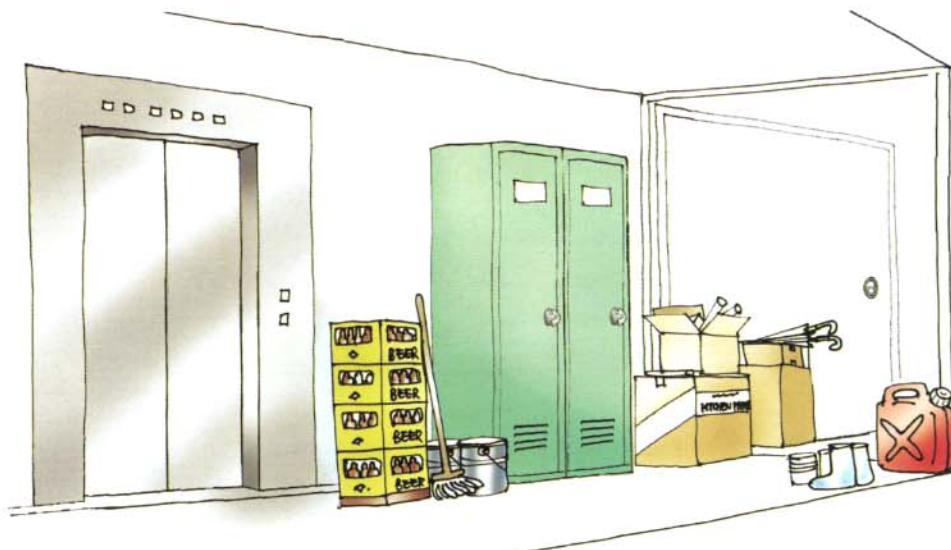
お客様の人数、けが人の有無を確認し、もし、けがをした人及び逃げおくれた人がいれば、消防隊に報告します。

●避難通路・避難階段の維持管理

避難通路



**これでは
消防法違反です。**



避難通路に物が放置されたり、非常口がふさがれると、避難経路が断たれ、大変危険です。

避難階段



**これでは
消防法違反です。**



避難階段が倉庫代わりになった状態。階段に物が放置されると、避難経路が断たれ、大変危険です。